

広報

もり 中部の森林



私の森語り「ウッドスタートで地域を元気に」
東京おもちゃ美術館 副館長 馬場 清

写真：「春を告げる福寿草」(長野県松本市^{あかぬた}「赤怒田福寿草公園」)

特集

- ・令和3年度 治山・林道工事コンクール

各地からの便り

- ・有限会社三進造林が優秀賞（林野庁長官賞）を受賞！ほか

シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、
中部の保護林、お役に立ちます国有林



林野庁中部森林管理局



2022/No.216

令和三年度
ちさんりんどう
治山・林道工事コンクール

【治山課・森林整備課】

治山・林道工事コンクールは、国有林野の公益的機能を高度に發揮させるとともに、林業の成長産業化の推進に貢献した治山・林道工事であつて、民有林の模範としてふさわしいものを表彰することにより、工事における計画、設計・

施工の適正化及び技術の向上、並びに関係者の意欲高揚に資することを目的に実施しています。令和三年度は、令和二年度に実施した治山工事九十四件、林道工事五十三件のうち森林管理署等より推薦された治山工事二十三件、林道工事十四件を対象に、令和三年十月四日に有識者を含めた審査委員会において優良工事十九件を選出しました。

そして、林野庁長官賞五件（治山工事部門三件、林道工事部門二件）、中部森林管理局長賞十四件（治山工事部門十件、林道工事部門四件）の工事の受賞が決定しました。また、林野庁長官賞を受賞した工事の監理技術者、主任技術者、現場代理人及び監督職員の十二名の方が中部森林管理局長賞を受賞されました。

なお、林野庁長官賞表彰式並びに中部森林管理局長賞表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行わず、表彰状を各受賞者にお送りさせていただきました。今後、本コンクールの趣旨に則つて関係者間で技術の研鑽、創意工夫等を行つていただき、より一層優良で模範となる工事を実施いただくことを期待しています。

林野庁長官賞受賞工事



キッカケ沢復旧治山工事（施工者 スワテック建設株式会社）



鳶ヶ巣2復旧治山工事（施工者 大協建設株式会社）



姥ナギ沢復旧治山工事
 （施工者 株式会社加藤工務店）



御岳御厩野林道改良工事（施工者 奥田工業株式会社）



双六細越（金木戸）
 林道災害復旧工事
 （施工者 有限会社 下仲組）

治山・林道工事コンクール賞状受賞者

1. 中部森林管理局長賞(賞状授与) 治山10社 林道4社

工事別	署所名	工 事 名	会社名	役職名	代表者氏名
治山	中信	なかしらすわ 中白沢復旧治山工事	(株)峯村組	代表取締役	みねむら ひろふみ 峯村 浩文
治山	中信	がまはらざわ 蒲原沢復旧治山工事	(株)笠原建設	代表取締役	すずき ひでき 鈴木 秀城
治山	中信	つちやがわ 土谷川地すべり防止工事	(株)今井工務店	代表取締役	いまい しやうじ 今井 頌治
治山	東信	にりかわ 濁川地域防災対策総合治山工事	やなぎさわけんせつ 柳沢建設(株)	代表取締役	やなぎさわ よういち 柳沢 洋一
治山	南木曾	いながわ 伊奈川(ヤケ小屋)復旧治山工事	(株)名工土木	代表取締役	おおさわ けんいち 大沢 謙一
治山	伊那谷	はたさわ 畑沢2復旧治山工事	(株)内山組	代表取締役	つつい まさかつ 筒井 正勝
治山	岐阜	おおがわら かどまきたに 大河原(角巻谷)流木防止総合対策治山工事	くろだけんせつ 黒田建設(株)	代表取締役	くろだ えいじ 黒田 英嗣
治山	岐阜	にりご くまきだに 濁河(草木谷)復旧治山工事	(株)梅田組	代表取締役	うめた けいし 梅田 桂司
治山	東濃	しらいさわ 白井沢(フカ洞)2復旧治山工事	(有)共和土木	代表取締役	ほり とうふく 堀 豊次
治山	愛知	とよはし うめだがわしりゆう 豊橋(梅田川支流)復旧治山工事	いまいずみけんせつ 今泉建設(株)	代表取締役	いまいずみ みつとし 今泉 光俊
林道	南信	くろごうち 黒河内林道災害復旧工事1	いしだけんせつ 石田建設(株)	代表取締役	いしだ こういち 石田 耕一
林道	南信	くろごうち 黒河内林道災害復旧工事2	おざわけんせつ 小澤建設(株)	代表取締役	おざわ ちやうざう 小澤 長三
林道	東濃	きりがはら 霧ヶ原林業専用道新設工事	つけちどけん 付知土建(株)	代表取締役	み お 秀和 三尾 秀和
林道	東濃	あだけだにこいこ 阿岳谷鯉子林道災害復旧工事	(株)矢野土木	代表取締役	やの かつや 矢野 克也

2. 中部森林管理局長賞(賞状授与) (林野庁長官賞受賞者の現場代理人等) 12名

工事別	署所名	工 事 名	現場代理人	主任技術者	監督職員
治山	南信	きっかケ沢復旧治山工事	いとう よういち 伊東 洋一	ひらお あきひろ 平尾 晃弘	たかはし すむむ 高橋 進
治山	伊那谷	とび す 鷹ヶ巣2復旧治山工事	いちざわ なおゆき (市澤 直行)	いちざわ なおゆき 市澤 直行 (監理)	たてべ しんご 立邊 真悟
治山	東濃	うば さわ 姥ナギ沢復旧治山工事	おおはし かねゆき (大橋 金幸)	おおはし かねゆき 大橋 金幸	なかざわ えいき 中澤 栄貴
林道	木 曾	おんたけみまいの 御岳御厩野林道改良工事	なかむら ゆう 中村 優	いわお のぼる 若男 昇 (監理)	こせき ふみたけ 小瀬木文武
林道	飛 騨	すごろくほそごえ かなきど 双六細越(金木戸)林道災害復旧工事	したなか かつゆき (下仲 克幸)	したなか かつゆき 下仲 克幸 (監理)	またの あつき 俣野 篤樹

現場代理人・主任技術者及び監理技術者が兼務している場合は、上位の役職者を表彰します。

3. 林野庁長官賞 5社(表彰済み)

工事別	署所名	工 事 名	会社名	役職名	代表者氏名
治山	南 信	きっかケ沢復旧治山工事	スワテック建設(株)	代表取締役	かきざわ みつる 柿澤 充
治山	伊那谷	とび す 鷹ヶ巣2復旧治山工事	たいきょうけんせつ 大協建設(株)	代表取締役	おざわ さとる 小澤 悟
治山	東 濃	うば さわ 姥ナギ沢復旧治山工事	(株)加藤工務店	代表取締役	かとうせいじろう 加藤政太郎
林道	木 曾	おんたけみまいの 御岳御厩野林道改良工事	おくだこうぎやう 奥田工業(株)	代表取締役	おくだ かずひこ 奥田 和彦
林道	飛 騨	すごろくほそごえ かなきど 双六細越(金木戸)林道災害復旧工事	(有)下仲組	代表取締役	したなか まさゆき 下仲 真幸

優秀賞 主伐・再造林部門 (有)三進造林(岐阜県高山市)

急斜面地におけるグラップルによる

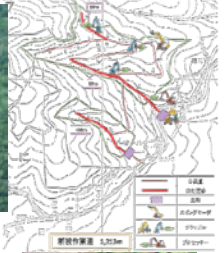
多段集材・運搬の取組

今回の作業地は皆伐の急斜面で、グラップルによる直取りは行うものの、フォワードでの運搬が困難であると判断し、グラップルでの多段集材・運搬を試みた。森林生態系に配慮し、モザイク状に皆伐を行い、林地に枝条が残らないように作業道上で枝払いし、その枝条は林地荒廃を防ぐ意味で、作業道に敷設した。林地に残った枝条については、杭打ちで止め林地保全を図った。急斜面での作業であることから特に安全に留意した作業配置を行った。

- グラップル3台による多段集材 ○ 直取で生産性アップ
- 全木集材で有効利用と地持え等の労務の軽減
- 苗木の重機運搬による効率化と労務負担軽減



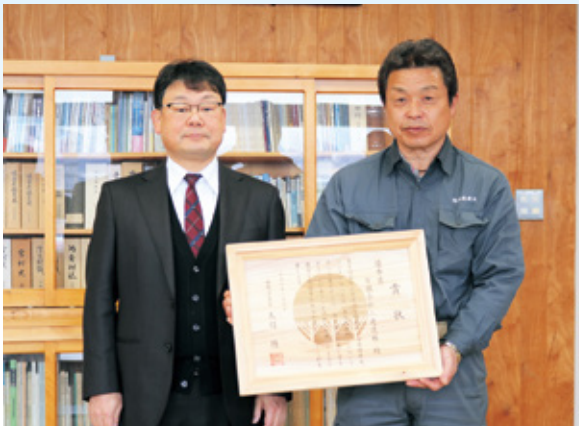
実行箇所全景



自走運搬



苗木運搬



飛騨署長(左)、優秀賞を受賞された(有)三進造林 下瀬代表取締役(右)

有限会社三進造林が
優秀賞(林野庁長官賞)を受賞!

【飛騨森林管理署・資源活用課】

令和四年二月十六日、飛騨森林管理署において、令和三年度国有林間伐・再造林推進コンクールの優秀賞(林野庁長官賞)を受賞した(有)三進造林(岐阜県高山市)代表取締役 下瀬利明氏への伝達表彰を行いました。

このコンクールは、国有林野事業で実施した間伐、主伐・再造林及び立木販売において、法令の遵守、安全の確保及び担い手の育成に積極的に取り組むとともに、高い生産性等を達成した優れた事例を表彰し、公表することにより、その取組を民有林も含めて広く普及していくことを目的とするもので、中部森林管理局からもホームページ等を通じて、広く募集を行い、その中から選考委員会を経て、中部森林管理局長から推薦候補を上申したものです。

今年度のコンクールでは、林野庁で開催された審査委員会において、全国で最優秀賞一事業体、優

秀賞四事業体選ばれました。

(有)三進造林は、急斜面地におけるグラップルによる多段集材・運搬の取組が評価され、主伐・再造林部門での受賞となりました。

今後ともこうした普及・啓発活動を通じて、民有林も含めた、循環型林業の推進に繋がっていきたくと考えています。

※令和三年度国有林間伐・再造林推進コンクールの概要は林野ホームページで紹介しています。

<https://www.rinyamaff.go.jp/j/gyoumu/hanbai/kanbatusuisin Konkuru.html>



天然木曽ヒノキ製材品

初市で競り



【木曽森林管理署】

一月二十二日、木曽官材市売協同組合（木曽郡上松町）において、天然木曽ヒノキの製材品等と競る新春初市、「第二十五回全市連国産材需要拡大製材品特別展示大会」が開催されました。

木曽森林管理署からは製材品の原材料として、天然木曽ヒノキ一一立方メートル、林齢八十年生以上の

高齢級人工林から生産されたヒノキ丸太（呼称：高木曽ひのき）二五立方メートルを供給しました。

樹齢二百年を越す天然木や人工林ヒノキ等が出荷者（荷主）ごとの浜と呼ばれる区画に並べられ、主に寺社の建築に利用される板や柱、桁などに加工された製材（材積計約二〇〇立方メートル）がそれぞれ競りに掛けられ、買主約六十名が製材品を吟味しながら次々と感勢よく値を付け競り落としました。



中部森林管理局長賞（信州プレミアムカラマツ桁）を受賞した勝野木材の勝野智明社長と上局長



中部森林管理局長賞（信州プレミアムカラマツ桁）

当日は中部森林管理局長（上練三）も参加し、「無垢材の良さが伝わる品質の確かな製品の供給に取り組まれ、木材利用の推進に努めていただきたい。」と祝辞を述べました。

競り落とされた最高値は天然木曽ヒノキ桁盤三方無節五メートル×二一センチメートルで二四〇万円

／立方メートルで、製材品の平均単価は平年並みの立方メートル当たり約三〇万円でした。

天然木曽ヒノキ等の役割とよばれる無垢材については市売流通が基本で需要や価格動向の情報発信の役割も担っています。今後も国有林材のPRのため供給に努めていきます。

シリーズ

森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【東信森林管理署東部森林事務所】
地域統括森林官 須田 広明

東部森林事務所は、長野県東御市に所在し、東御市、小諸市、立科町の国有林を管理しています。管轄する国有林は、五、五九三ヘクタで、約六割が人間の手で植えられたカラマツ林です。管内には、レンゲツツジの大群

落で有名な「湯の丸高原」や「湯の丸スキー場」、アウトドアスポーツや雲上の温泉でも有名な「高峰高原」などがあります。

また、東御市から地蔵峠を越えて群馬県嬭恋村へ抜ける「東御嬭恋線」沿いには、林野庁の「森の巨人たち百選」に選ばれた樹齢三百年以上のシナノキがあります。



高峰高原から望む浅間山



湯の丸高原のレンゲツツジ



森の巨人たち百選シナノキ

さらに、この道路沿い約一二キロには、一番から百番までの百体観音像が一町(約一〇九㍍)ごとに祀られているなど見どころ満載です。

このほか、湯の丸高原の国有林内(標高一、七五〇㍍)には、日本唯一の高地トレッキング用屋内プールや、国内最高地点につくられた全天候型四〇㍍トラックなど、多くの施設が整備されています。多くの東京オリンピック・パラリンピックの選手たちが、ここでトレーニングを重ね、メダルの獲得を果たしました。

当事務所の業務は、希少な動植物の保護を目的としたパトロールのほか、苗木を植えて森をつくる

造林事業、森を育てる間伐事業、また木材を伐り出す生産事業など、バラエティーに富んでいます。仕事は多岐にわたり、また大きな責任を感じていますが、私を含め職員二名で協力し合い、日々楽しく充実した時間を過ごしています。

■未来の担い手へのメッセージ

森林をつくることは何十年というとても長く長い時間のかかる仕事です。私達一人ひとりが森林づくりに関わることができるのは、大木の一生に比べれば、ほんのわずかな期間でしかありません。ただ、世代を超えた私たちの努力の積み重ねによって森林はつくられています。森を育て自然を守る仕事に興味がある方は、仲間に加わってみませんか。



左側が筆者

シリーズ

「私の木語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「ウッドスタートで地域を元気に」



東京おもちゃ美術館
副館長
馬場 清

■自己紹介

東京おもちゃ美術館副館長として、東京おもちゃ美術館が進める「木育」II「ウッドスタート」の担当をしています。日本には、材料である「木」、それを加工する「技」がありながら、



当館内にある、「東京赤ちゃん木育ひろば」は、多摩産材や全国のスギを活用した大人気の赤ちゃん向けスポット。

国産の木のおもちゃの自給率はとても低く、少しでもその普及を図るべく、活動を展開しています。

■活動内容

ウッドスタートは、全国の自治体と締結する木育連携協定のこと。締結にあたっては、誕生祝い品を地産地消の木製玩具にするのが条件です。私たち東京おもちゃ美術館は、そのおもちゃの総合プロデュースを行っています。すでに二〇二一年の新宿区を皮切りに、昨年の京都府亀岡市まで、全国で五十三の市区町村が宣言をしています。

ウッドスタートは、木のおもちゃをプレゼントすることだけに留まりません。その地域ならではの木育の取組と一緒に進めていくことになりました。

中部森林管理局管内に限っても、例えば塩尻市（長野県）では、毎年木育フェスティバルというイベントを行っています。信濃町（長野県）では、地域材を活用した子育て支援センターを作りました。

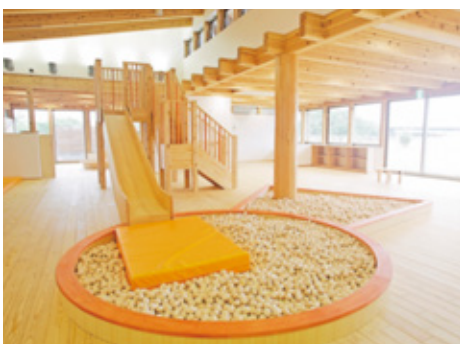
大野町（岐阜県）でも、道の駅を



長野県信濃町に作られた子育て支援センター「なかよし」。ウッドスタート宣言を機に、積極的に地域材を活用した空間を、東京おもちゃ美術館監修で設置。

新設するにあたり、大規模な子育て支援施設「ぱすてる」を作ることになり、私どもが全面的に監修をさせていただきました。

そしてその最たるものが、「おもちゃ美術館の建設」です。すでに全国に八館がオープン、二〇二二年度



新設された道の駅に併設された子育て支援施設「ぱすてる」。岐阜県産材を活用し、地域の特産である柿をモチーフにした遊具や、前方後円墳を表した木のタマゴプールなどを設置。

には、さらに三館がオープン予定。これらはすべて、地域材を全面的に活用し、木の良さを伝えるまさに木育の拠点としての機能を持っています。実は、木曾町でも、今秋のオープンが予定されています。日本を代表する林業地である木曾の地に、どんなおもちゃ美術館ができるのか。乞うご期待です。

■メッセージ

日本の子どもは日本の木のおもちゃで育つ。そのことで、日本の森も元気になる。そんな社会になるといいなあと、思って、日々奮闘しています。

○連絡先

東京おもちゃ美術館
〒一六〇一〇〇〇四
東京都新宿区四谷四一二〇
電話：〇三―五三六七一九六〇一
FAX：〇三―五三六七一九六〇二
メール：kbaba@art-play.or.jp
ホームページ
<https://art-play.or.jp/tmn/>



シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第11回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「伐木事業所」

伐採が行われている地域の前線基地とも言うべき場所が伐木事業所(會所)です。伐採された



明治時代末頃の伐木事業所
(現在の木曾森林管理署管内)

木が山から運ばれる際の拠点でもあります。担当の役人(掛官)の事務所としての機能と、現場の人達の宿泊地としての機能がありました。山中の作業小屋(和小屋)よりはしっかりとしているものの、それでも恒久的な施設ではありませんでしたから、簡素な造りであったことには違いありません。働く組ごとの小屋



昭和10年頃の人夫小屋
(現在の飛騨森林管理署管内)

で寝泊まりし、上下関係の厳しい規則があったようです。伐木造材に携わる「杣」、運材に携わる「日雇」の他にも、掛官の補助員、炊事を担当する炊事手、手伝いの小僧さんなどが働いていました。



昭和30年頃の製品事業所
(現在の木曾森林管理署管内)

時代とともに施設の名称や形態も変わり、伐採事業所、製品事業所などへと繋がりました。やがて国有林野事業で直営による木材生産を縮小する時代を迎えると、こうした種類の施設は消えていくこととなります。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。

これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



雪に閉ざされる植物群落

あまかざり てんぐほらやま

雨飾・天狗原山

生物群集保護林

設定目的

冬は雪の日が多く、夏は晴天の日が多い特徴を示す日本海型気候帯の保護林です。

日本海側には、その環境に適した性質を持つ植物が多く自生しています。例えば、ササであれば、根曲竹の名前で知られるチシマザサや、ちまきを包むのに使われるチマキザサは、日本海側に分布しています。これは、高く積もった雪が、茎の途中にあるササの芽を、寒さや乾燥から守るためといわれています。

このような日本海型気候帯に属し、我が国有数の豪雪地帯である雨飾山（一九六三㊦）、天狗原山（二一九七㊦）周辺における植物群落を保護しています。

地況・林況

上信越高原国立公園西端の雨飾山、金山（二二四五㊦）、天狗原山を結ぶ稜線（新潟県・長野県境）から南側の斜面に位置しています。ミヤマナラ、コメツガ、ブナ、オオコメツツジ、ミヤマハンノキ等から構成される天然林となっています。

チマキザサが優占する雨飾山頂上付近から天狗原山を望む。

所在地
長野県小谷村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。

シリーズ

中部の保護林(第11回)



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に、参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれらの事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



ICTを活用したニホンジカ捕獲 ～ワナ見回りの軽減～

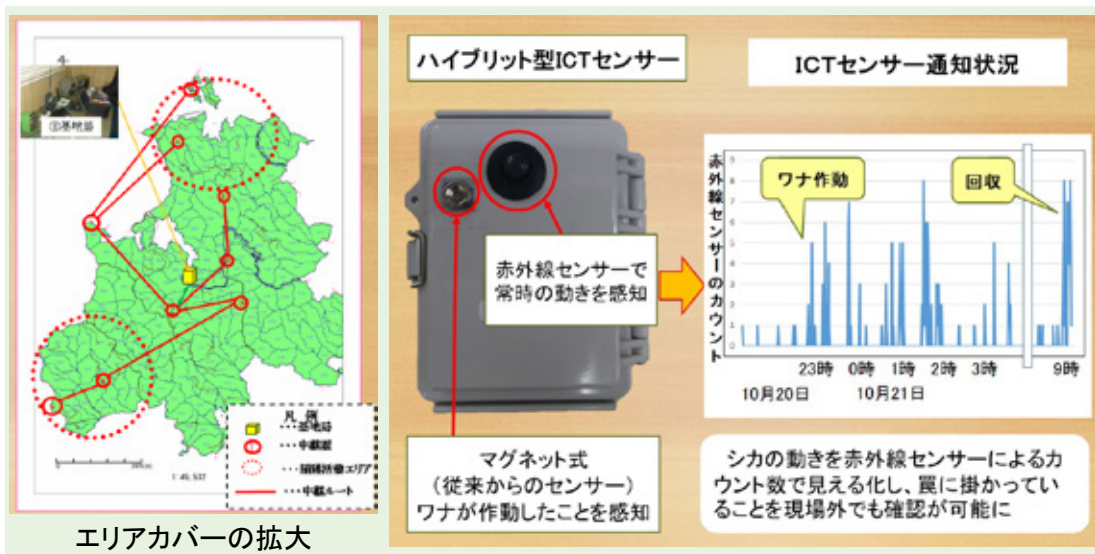
1. ねらい

ニホンジカ被害対策としてワナによる捕獲を行う際に、最も負担となる見回り労力の軽減のため、携帯電話が届かないエリアでも使える精度の高い捕獲通知システムを試行しています。

2. 概要

携帯電話回線によりメールが届く従来のシステムでは、携帯電波の届かない山間部では限界があります。また、マグネット式センサーでは、捕獲されない空はじきでも通知が届いてしまいます。

新たなシステムでは、①LPWA（省電力広域通信）と携帯通信を連携させ、②マグネット式と赤外線を組み合わせた「ハイブリッド型ICTセンサー」を導入することにより、山間部に仕掛けたワナを自宅に居ても高い精度で監視することができます。



3. 成果

LPWAの使用により、省電力無線を低コスト化で運用可能で使用者の電波免許も不要となり、最大10kmの通信が可能となりました。

「ハイブリッド型ICTセンサー」により、ワナ作動後のシカの状況が猟師に分かるため、精度の高い監視が可能となりました。

これらにより、見回り労力が軽減しました。

4. お問い合わせ先

愛知森林管理事務所 電話0536-22-1101

お役に立ちます
国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ





WEB会議の様子

**国有林モニターの皆様！
貴重なご意見・ご提案をいただき
ありがとうございます。**

二月十七日、中部森林管理局において、二年間の任期の締めくくりとなる令和三年度国有林モニター会議（意見交換会）をモニターの皆様のご協力を得て、初めてWEB形式で開催しました。

当日は八名のモニターに参加していただきました。

会議では、冒頭、局長から二年間のモニター活動に対し感謝を申し上げ、その後、総務企画部長、計画保全部長、森林整備部長より、第三回国有林モニターアンケートでお伺いした森林や林業に関する興味・関心ごとに対し、写真や動画等を交えながら回答しました。

また、モニターの皆様一人ひとりから、「毎月の情報提供を通して森林・林業などについての知識が増えた」、「モニター数を増やすなど国有林の知識が増える機会を増やしてはどうか」、「レクリエーションの森についてこれから情報発信してほしい」、「広報誌を市役所やアウトドアショップに置いてはどうか」など、当局からの広報誌等の様々な情報提供、アンケートへの回答など二年間の活動を通してのご意見・ご

感想をいただきました。

森林・林業や国有林野事業へは、「キノコの研究を推進してほしい」、「建築物に地元産の木材を利用したい」、「木曾悠久の森について理解を深めることができた」、「国産材を利用する体制は整っているのか」、「成長の早い樹種を日本の林業に活用できないか」などのご意見・ご質問をいただきました。

中でも、「新型コロナウイルス感染症の影響で現地視察等が開催されず残念だった」とのご意見が多く寄せられました。担当者として、実際の現場を見ていただくことができずとても残念に思っています。

モニターの皆様の様々な視点からの貴重なご意見、ご提案に感謝するとともに、いただいた内容については、今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。

（企画調整課）

編集長だより

（中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。）

中部局管内は、寒波の影響で例年になく大雪となっていました。3月に入ると待ちわびた春の足音が少しずつ聞こえてきました。例えば「春一番は、マンサク」、「春先、庭先、梅が咲き」、「雪解けとともに、フキノトウ」などです。そして、今号の表紙を飾った赤怒田福寿草公園（松本市四賀会田118-1）の「春を告げるフクジュソウ」は、自然の土手に自生したかたちで数十万株の福寿草群生地となっています。また、長野県安曇野市で越冬していたコハクチョウも、2月中旬～3月下旬には北海道を経由して生まれ故郷のシベリアに帰る「北帰行」なども雪国の風物詩となっています。今年は、寒波の影響が例年より半月ほど遅い旅立ちだったそうです。



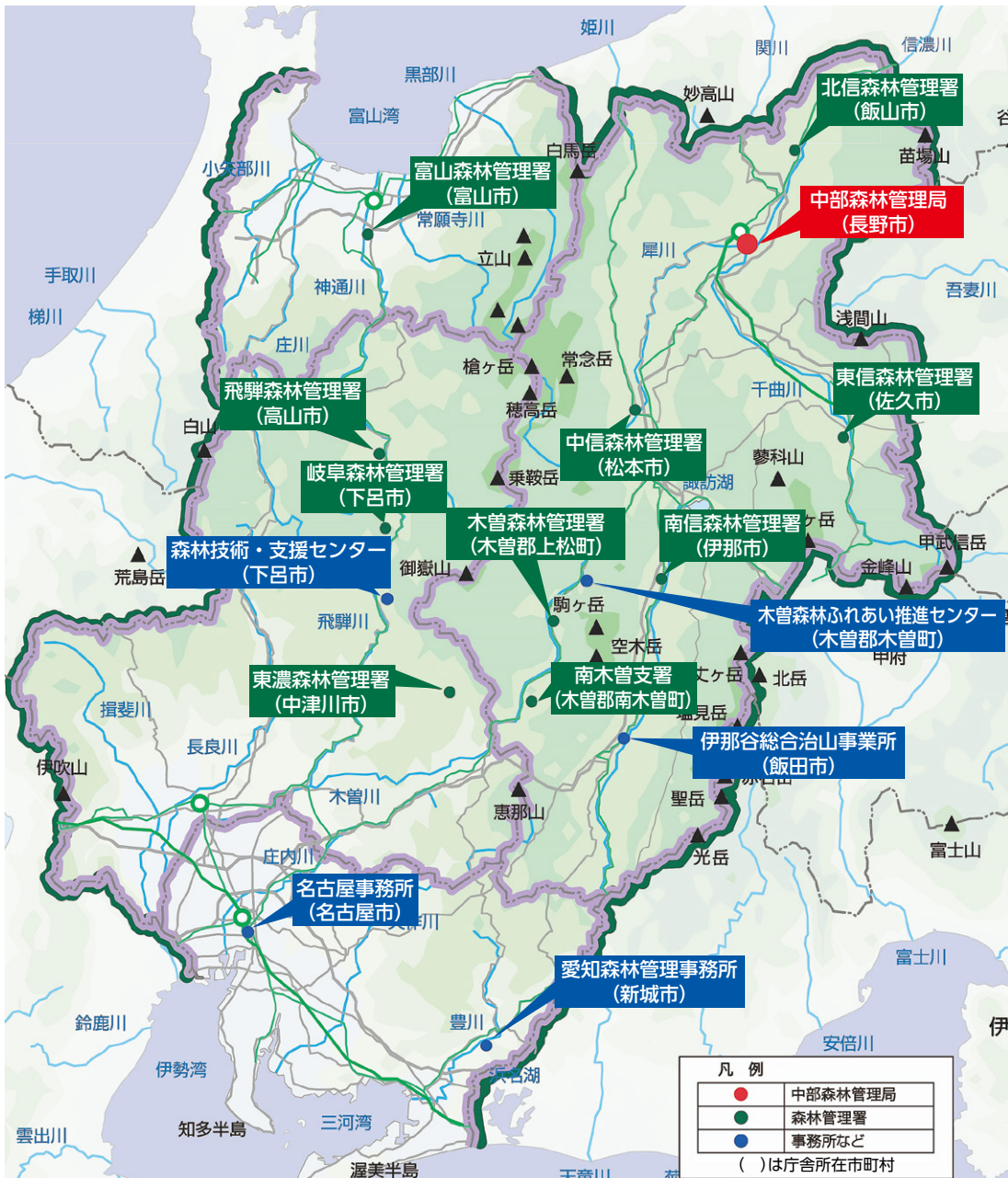
さて、これから春山シーズンです。まずは、いつでもお気軽に自宅で森林や自然の風景を楽しむことができる「デジタル森（もり）」で、美しい風景もご覧になってください。

デジタル森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。

デジタル森 テーマ①



39. 浅間山（前掛山）（東信署）



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局ホームページ



広報「中部の森林」



用語の解説
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

凡例

●	中部森林管理局
●	森林管理署
●	事務所など
()	庁舎所在市町村

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局
 編集：総務課 広報
 〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
 電話：026-236-2531
 FAX：026-236-2733
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
 (毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
 登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>
 または、右のQRコードを読み込んでください。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。